

蒲郡市における人の動き

～第5回中京都市圏パーソントリップ実態調査結果～

1. 地域間流動形態の現状

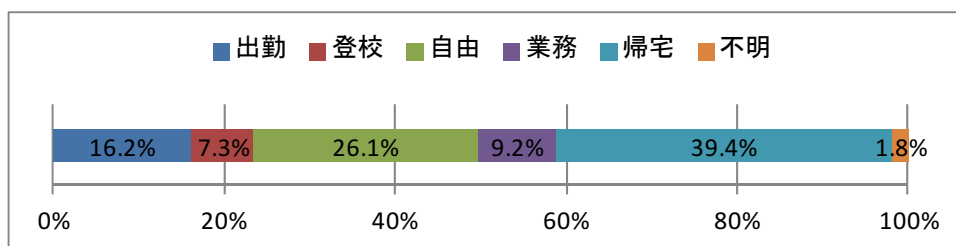
- ・蒲郡市からの流出は豊川市（7,078 トリップ）が最も多く、次いで西尾市（6364 トリップ）、豊橋市（6,195 トリップ）と続く。
- ・蒲郡市への流入は、豊川市（7,350 トリップ）が最も多く、次いで豊橋市（6,199 トリップ）、西尾市（6,025 トリップ）と続く
- ・流入、流出ともに、隣接市町が多くを占めている。

(第5回調査圏域：H23年度)

	内々トリップ数	流出トリップ数・流出先							流入トリップ数・流入先						
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	以下計	合計	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	以下計	合計
蒲郡市	124,445	豊川市 7,078	西尾市 6,364	豊橋市 6,195	岡崎市 5,350	幸田町 4,241	19,473	48,701	豊川市 7,350	豊橋市 6,199	西尾市 6,025	岡崎市 5,498	幸田町 4,180	18,824	48,076

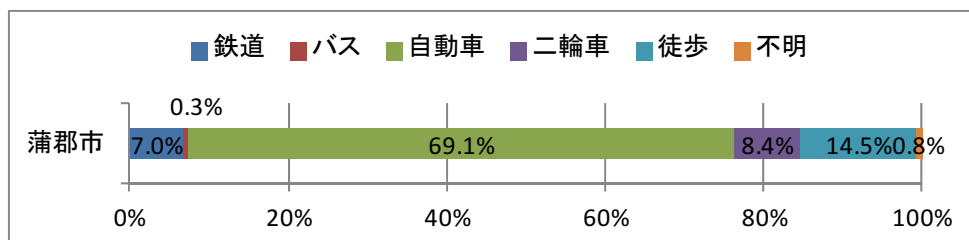
2. 交通目的からみた人の動き

- ・蒲郡市の交通目的は、帰宅を除くと、自由目的が最も高く26.1%、次いで出勤目的が16.2%、業務目的が9.2%と続く。



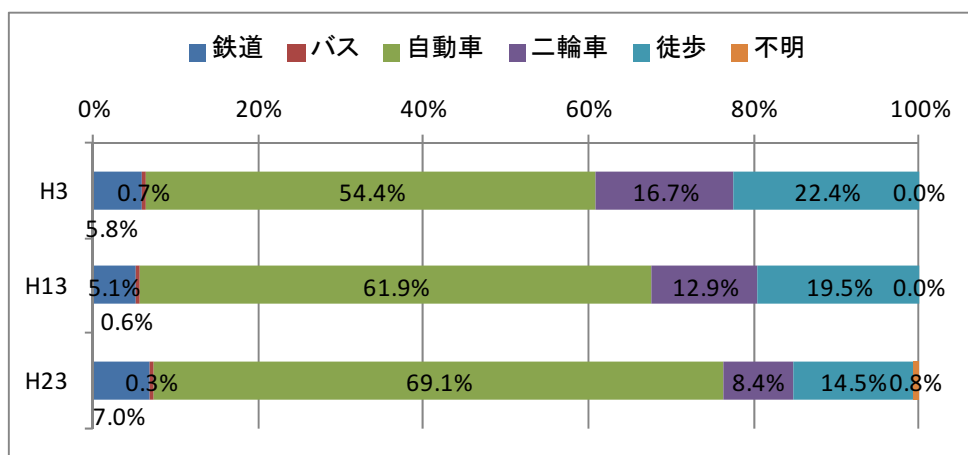
3. 交通手段からみた人の動き

- ・蒲郡市の交通手段、自動車が多くを占め、69.1%を示し、鉄道は7.0%、バスは0.3%に過ぎない。



4. 地域間流動の推移（市町村間交通量）

- ・蒲郡市の地域間流動の推移をみると、自動車の占める割合が増加傾向にあり、二輪車が平成3年時点では16.7%であったものが、平成23年では約半分の8.4%に減少している。
- ・鉄道は平成3年時点で5.8%を示していたが、平成23年では7.0%まで増加している。
- ・バスは、全体に占める割合が少ない中、平成3年時点の0.7%から平成23年の0.3%まで減少している。



5. 地域間流動特性の推移（内々、内外）

- ・蒲郡市の地域間流動特性を見ると、内外（流出・流入）の割合が平成3年時点では30.8%であったものが、平成23年では43.7%にまで増加し、他市町への流出、流入が増加しているといえる。

